（別紙様式4）

令和7年7月31日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
大阪ビューティー アート専門学校	平成15年4月1日	真野　正道	〒　532-0011 （住所）　大阪府大阪市淀川区西中島3-8-29 （電話）　06-6300-5514
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居　敏	〒　113-0033 （住所）　東京都文京区本郷三丁目23番16号 （電話）　03-3814-6151

分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
衛生	衛生専門課程	トータルビューティー科	平成17(2005)年度	―	平成27(2015)年度

学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、美容業界に従事しようとする者に必要な実践的かつ専門的な知識、技能を教授することによって、明日の美容業界を担う人材を養成することを目的とする。
学科の特徴（主な教育内容、取得可能な資格　等）	エステ、メイク、ネイルなどトータルに美容を学び、1年次後期からはコース選択ができ、メイク、ネイル、エステなどに特化した授業を受けることができる。 各コースでアドバンス資格取得が可能である。

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
		62 単位	104 単位	115 単位	13 単位	0 単位	14 単位

生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数（生徒実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
542 人	313 人	4 人	1%	15 %

就職等の状況

■卒業者数 (C)	144	人
■就職希望者数 (D)	110	人
■就職者数 (E)	103	人
■地元就職者数 (F)	54	人
■就職率 (E/D)	94	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	52	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	72	%
■進学者数	25	人

■その他
アルバイト　8名

（令和　　6 年度卒業者に関する令和7年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等
（令和6年度卒業生）
化粧品関連企業・エステサロン・ネイルサロン・ヘアメイク事務所等

第三者による学校評価

■民間の評価機関等から第三者評価：　無
※有の場合、例えば以下について任意記載

評価団体：　　受審年月：　　評価結果を掲載したホームページＵＲＬ

当該学科のホームページURL

https://www.sanko.ac.jp/osaka-beauty/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

（Ａ：単位時間による算定）

総授業時数	単位時間
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間
うち必修授業時数	単位時間
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	単位時間

（Ｂ：単位数による算定）

総単位数	277 単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	14 単位
うち企業等と連携した演習の単位数	0 単位
うち必修単位数	9 単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	2 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	33 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	8 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	5 人
計		46 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	25 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。
（1）カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
（2）各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
（3）教科書・教材の選定に関する事項
（4）その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等
またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで業界の求めるニーズを確実に捉え本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。
具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、ビューティー分野専門委員会（別紙組織図：各専門委員会）にて提案される。
提案に基づき、ビューティー分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
河島　健	社団法人一生美容に恋する会	令和5年4月1日～令和9年3月31日（4年）	①
松下　有希子	株式会社アルシュ	令和5年4月1日～令和9年3月31日（4年）	③
中川　由貴	副校長	－	－
磯田　翔太	主任	－	－
安本　尚子	主任	－	－

※委員の種別の欄には企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回　（2月、6月）
（開催日時（実績））
第1回　令和7年2月5日　16:30～18:00
第2回　令和7年6月26日　16:00～17:15

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。
①レジリエンスを高め社会で活躍できる人材になるための教育を行うとよいという提案があった。
⇒対応：就職対策の授業シラバスを見直し、より現状に即した内容への変更を検討する。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
実践的な指導を施すにあたり、美容業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。美容業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
＊授業内容について　1年次に2週間程度、連携企業先で現場実習を実施し、美容業界に必要な接客力を習得する。
2年次に週2時間実習授業を実施している。授業科目「着付け」の授業を年間を通して実施る美容業界において企業の方より実践力を想定し着物に関する知識、技術を修得。そして授業を通して美容業(接客業)に欠かせない挨拶、マナー、言葉遣いなどの礼節並びに振る舞い、行動など所作を身に付ける
＊評価について　連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科　目　概　要	連　携　企　業　等
施設実習Ⅰ	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学びお客様をお迎えして実践して自身の技術向上を目指す。 ②美を通して人を魅了することへの表外科力を養うために日頃の授業のアウトプットとして企画、立案力と実践力を身に付ける。	ゲラン株式会社
施設実習Ⅱ	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学びお客様をお迎えして実践して自身の技術向上を目指す。 ②美を通して人を魅了することへの表外科力を養うために日頃の授業のアウトプットとして企画、立案力と実践力を身に付ける。	株式会社LVMHジバンシー

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。
・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　業界で活躍するための事前指導について　　連携企業等：株式会社アルビオン　甲斐様
期間：　令和7年1月14日　　対象：担任教員20名
内容　美容部員の仕事を中心に仕事のやりがいや働くうえで必要な姿勢についてのご講話

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　現代社会を生きる学生と効果的な学習指導方法をめぐって　　連携企業等：佛教大学副学長・教育学部教授　原清治様
期間：　令和7年3月28日　　対象：教員120名
内容　現代の学生に合わせた教育方法が何かを知り、学生が学びたい環境を作れるように知識をつける

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 就職活動の動機付けと具体的方法　　連携企業等: 財団法人一生美容に恋する会

期間: 令和7年9月12日　　対象: 担任教員20名

内容 生徒との就職活動をより円滑に進められるような動機付け方法を学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 相談室を利用する学生の特徴と傾向　　連携企業等: 臨床心理士　岡本大輔様

期間: 令和7年9月18日　　対象: 教員120名

内容 現代の学生に合わせた教育方法が何かを知り、学生が学びたい環境を作れるように知識をつける

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。
学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	(11)国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。
①卒業生向けの再就職支援について強化してはどうか
⇒対応:学内に就職チームを中心に卒業生専用SNSを利用した卒業生向けの告知を行う

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
木田　康隆	ステーションカンパニー株式会社　取締役副社長	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年)	企業等委員
荒川　悠子	株式会社ガモウ関西　人材サポート部 チーフアドバイザー	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	企業等委員
村田　真利亜	和風エステサロン桜Biscuit　オーナーセラピスト	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	卒業生
田山　知佳	飛鳥未来高等学校　大阪キャンパス　主任	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	教育機関

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(　　))

URL: https://www.sanko.ac.jp/osaka-beauty/disclosure/

公表時期: 令和7年7月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。
1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
（2）各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要
（3）教職員	教員数、組織、専門性
（4）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
（5）様々な教育活動・教育環境	学校行事
（6）学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
（7）学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
（8）学校の財務	学校の財務
（9）学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
（10）国際連携の状況	国際交流
（11）その他	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

（ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（ ））

URL： https://www.sanko.ac.jp/osaka-beauty/disclosure/

公表時期： 令和7年7月31日

授業科目等の概要

	（衛生専門課程　トータルビューティー科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			サロンマナーⅠ	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。	1前	30	2	○			○			○	
2	○			カラーコーディネートⅠ	ファッションコーディネートの現場で即戦力となれるように色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付ける。パーソナルカラーコーディネートの資格を取得する。	1前	30	2	○			○			○	
3	○			未来デザインプログラムⅠ	ビジネス書「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1前	15	1	○			○		○		
4			○	デッサン・イラストレーション	物の形をよく観察する力と洞察力を養うことでより深く芸術を理解する。またデッサン力から応用することによりコミュニケーション能力を高める。	1前	30	2	○			○			○	
5			○	皮膚学Ⅰ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。 ・皮膚の基礎知識 ・美容上大切な皮膚の6つの働き	1前	30	2	○			○			○	
6			○	生理学Ⅰ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する。　・骨格系、筋肉系、神経系	1前	30	2	○			○			○	
7			○	栄養学Ⅰ	人間の栄養系の必要量、食品成分、食科の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。	1前	15	1	○			○			○	
8			○	香粧品学Ⅰ	化粧品の法律上の扱いや分類、取扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。	1前	15	1	○			○			○	
9			○	エスティック概論・衛生学・関係法規Ⅰ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。	1前	15	1	○			○			○	
10			○	ベーシックエステⅠ	身体や皮膚の生理機能に基づいたファイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技の意味を理解する。	1前	60	2		○		○		○	○	
11			○	ベーシックネイルⅠ	JNECネイリスト技能検定3級取得を目指し、ネイルケア～カラーリング・アートまでのネイル基礎を学ぶ。	1前	60	2		○		○		○	○	
12			○	ベーシックメイクⅠ	メイクアップ化粧品の特徴と適切な使用方法を理解すると同時に、スキンケア～名句アップテクニックをマスターしフルメイク基礎技術を身に付ける。	1前	60	2		○		○		○	○	
13			○	就職対策Ⅰ	就職の心構えや目的から伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを指導する。	1前	15	1	○			○		○		
14			○	キャリアデザインⅠ	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする。	1前	15	1	○			○		○		

	（衛生専門課程　トータルビューティー科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
15	○			カラーコーディネートⅡ	色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付け、パーソナルカラーコーディネートの資格取得を目指す。	1後	30	2	○			○			○	
16	○			未来デザインプログラムⅡ	ビジネス書「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1後	15	1	○			○		○		
17			○	就職対策Ⅱ	就職の心構えや目的から伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを指導し、円滑な就職活動準備をする。	1後	15	1	○			○		○		
18			○	キャリアデザインⅡ	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする。	1後	15	1	○			○		○		
19	○			サロンマナーⅡ	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。	1後	15	1	○			○			○	
20			○	SNS・WEB・フォトスキル	美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようになる。	1後	15	1		○		○			○	
21			○	皮膚学Ⅱ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。 ・皮膚の基礎知識 ・美容上大切な皮膚の6つの働き	1後	30	2	○			○			○	
22			○	生理学Ⅱ	人体の仕組み・構造と働きの基本を理解する ・内分泌系・呼吸器系・循環器系 ・消化器系・生殖器系	1後	30	2	○			○			○	
23			○	栄養学Ⅱ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。	1後	15	1	○			○			○	
24			○	香粧品学Ⅱ	化粧品の法律上の扱いや分類、取扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。 ・フェイシャル、ボディ化粧品 ・化粧品に用いられる薬剤とその働き	1後	15	1	○			○			○	
25			○	ベーシックネイルⅡ	ベーシックネイルⅠに続きJNECネイリスト技能検定2級課題であるネイルチップ（付け爪）の技術の基礎から応用までを学ぶ	1後	30	1		○		○			○	
26			○	ベーシックエステⅡ	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態にあったフェイシャル・ボディトリートメントを理解する。	1後	30	1		○		○			○	
27			○	ビューティーカウンセリング	メイク業界で仕事をしていくための基礎知識、各化粧品メーカーの分析、肌知識からのカウンセリングテクニック、接客技術を学ぶ。	1後	30	2	○			○		○		
28			○	検定メイクⅠ	資格取得の為のメイク基礎知識技術を身に付け、カウンセリングメイク応用技術を習得する。	1後	45	3	○			○		○		
29			○	ヘアアレンジⅠ	頭部、骨格の名称、ブロッキングの方法等を学習した後、ホットカーラー、ピン打ち、黒ゴムの結び方、編み込み、コテの使い方等の基礎テクニック習得を目指す。	1後	60	2		○		○		○		
30			○	パーソナルメイク	顔の分析、カラー診断、イメージに合わせて演習する。	1後	45	2		○		○		○		

	（衛生専門課程　トータルビューティー科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
31			○	ベーシックメイクⅡ	ベーシックメイクⅠに学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す。	1後	30	1		○		○		○		
32			○	エステティックカウンセリングⅠ	一人一人の心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する。	1後	15	1	○			○			○	
33			○	エスティック概論・衛生学・関係法規Ⅱ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。	1後	15	1	○			○			○	
34			○	プロフェイシャルⅠ	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身に付ける。	1後	60	2		○		○		○	○	
35			○	プロボディⅠ	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身に付ける。	1後	60	2		○		○		○		
36			○	アロマテラピーⅠ	アロマテラピーの基礎知識、精油のプロフィール、トリートメント法、嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学、アロマテラピーに関わる法律問題・資格制度を学ぶ。	1後	30	2	○			○			○	
37			○	スカルプチュア	JNECネイリスト技能検定1級の課題の一つとなっている、。アクリル樹脂のパウダーとリキッドを使用した付け爪で短い爪の長さを出す技術を学ぶ。	1後	45	2		○		○			○	
38			○	ネイルケア＆ネイルアートⅠーl	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する	1後	45	2		○		○			○	
39			○	検定対策Ⅰ	JNECネイリスト技能検定2～3級とJNAジェルネイル技能検定初球の取得を目指し技術強化していく授業。	1後	45	3	○			○			○	
40			○	ジェルネイルⅠ	JNAジェルネイル技能検定初球の取得を含め、ジェルネイルについての技能・知識を学ぶ授業。	1後	45	2		○		○			○	
41			○	コンテストⅠ	ネイルのコンペンションの出場を目指し、技術強化をしていく授業。	1後	15	1	○			○			○	
42			○	フェイシャル＆ボディⅠ	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントを理解する。	1後	45	2		○		○			○	
43			○	ネイルアートⅠ	JNECネイリスト技能検定2～3級とJNAジェルネイル技能検定初球の取得を目指していく授業。	1後	30	1		○		○			○	
44			○	ネイル演習	JNECネイリスト技能検定2～3級とJNAジェルネイル技能検定初球の取得を目指していく授業。	1後	30	1		○		○			○	
45			○	パーソナルヘア＆メイクⅠ	メイクの基礎技術をテーマに合わせたメイクテクニック学び実践に生かしていく。	1後	30	1		○		○			○	

	（衛生専門課程　トータルビューティー科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
46			○	検定メイクⅡ	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す。	1後	30	2	○			○			○	
47			○	スマホフォト技術	スマートフォンを使って作品撮りや自撮りのテクニックを身に付ける。	1後	15	1		○		○			○	
48			○	自己プロデュース	客観的な分析力と表現力を身に付ける。	1後	15	1		○		○		○		
49			○	パーソナルスタイル	顔のパーツを最も美しく引き立てるメイク・理論を習得する。	1後	15	1	○			○		○		
50			○	ビューティーフード	美容と健康に効果的な食の伝統と知識・食事法を理解する。	1後	15	1	○			○			○	
51			○	サロンワークⅠ－Ⅰ	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。	1後	45	1			○	○			○	
52		○		サロンワークⅡ－Ⅰ	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。	2前	45	1			○	○		○		○
53		○		サロンワークⅢ－Ⅰ	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。	2後	45	1			○	○		○		○
54			○	施設実習Ⅰ	現場での実習勤務を通して、１日及び1週間流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割を深め、接客の基本姿勢を学ぶ。	2前	40	1			○		○	○		○
55			○	施設実習Ⅱ	現場での実習勤務を通して、１日及び1週間流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割を深め、接客の基本姿勢を学ぶ。	2後	40	1			○		○	○		○
56			○	就職対策Ⅲ	円滑な就職活動を行うための対策就職に対する意識を高める納得した上でエントリーさせ、内定辞退を無くす。	2前	15	1	○		○	○		○		
57			○	就職対策Ⅳ	円滑な就職活動を行うための対策就職に対する意識を高める納得した上でエントリーさせ、内定辞退を無くす。	2後	15	1	○			○		○		
58			○	着付けⅠ－Ａ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般い対するアドバイスを行うための知識を習得する。	2前	30	1		○		○			○	
59			○	着付けⅠ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知識を習得する。	2通	30	1		○		○			○	
60			○	着付けⅡ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般い対するアドバイスを行うための知識を習得する。	2前	30	1		○		○			○	

	（衛生専門課程　トータルビューティー科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
61			○	ビューティー接客Ⅰ	ビジネスシーンで使える外国語の基礎と知識を学ぶ・接客に必要な外国語が出来るようになる	2前	30	2	○			○			○	
62			○	ビューティー接客Ⅱ	ビジネスシーンで使える外国語の基礎と知識を学ぶ・接客に必要な外国語が出来るようになる	2後	30	2	○			○			○	
63			○	ビューティーメイクⅠ―E	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う	2前	60	2		○		○			○	
64			○	ビューティーメイクⅡ―E	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う	2後	60	2		○		○			○	
65			○	ブランドリサーチⅠ	化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける	2前	45	2		○		○			○	
66			○	ブランドリサーチⅡ	化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける	2後	45	2		○		○			○	
67			○	カウンセリングⅠ	化粧品販売員として必要な知識を身に付ける	2前	60	4	○			○			○	
68			○	カウンセリングⅡ	化粧品販売員として必要な知識を身に付ける	2後	60	4	○			○			○	
69			○	クリエイティブヘアメイクⅠ	ショーや撮影など様々な場面で施すヘアメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする	2前	45	2		○		○			○	
70			○	クリエイティブヘアメイクⅡ	ショーや撮影など様々な場面で施すヘアメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする	2後	45	2		○		○			○	
71			○	ファッションⅠ	ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める	2前	15	1	○			○			○	
72			○	ファッションⅡ	ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める	2後	15	1	○			○			○	
73		○		サロンワークⅠ―H	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理にいついて学びサロン運営を行う	2前	60	2			○	○		○		○
74		○		サロンワークⅡ―H	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理にいついて学びサロン運営を行う	2後	60	2			○	○		○		○
75			○	ビューティーメイクⅠ―F	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う	2前	30	1		○		○			○	
76			○	ビューティーメイクⅡ―F	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う	2後	30	1		○		○			○	
77			○	スチールヘアメイクⅠ	スチールヘアメイクの技術を学び実践できるようにする	2前	45	2		○		○			○	
78			○	スチールヘアメイクⅡ	スチールヘアメイクの技術を学び実践できるようにする	2後	45	2		○		○			○	
79			○	ヘアアレンジⅡ	１年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2前	45	2		○		○			○	
80			○	ヘアアレンジⅢ	１年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2後	45	2		○		○			○	
81			○	ビューティーカウンセラーメイクⅠ	幅広いメイクアップの技術と肌の知識、カウンセリング方法等、ビューティーカウンセラーになる為の知識や技術を学ぶ。	2通	60	4	○			○		○		
82			○	ビュティーカウンラーメイクⅡ	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。	2通	60	4	○			○		○		

	（衛生専門課程　トータルビューティー科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
83			○	ブライダルメイクⅠ	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。現場を意識した技術を出来る様になる。	2前	45	2		○		○			○	
84			○	ブライダルメイクⅡ	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出来る様になる。	2後	45	2		○		○			○	
85			○	特殊メイクⅠ	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする。	2前	45	2		○		○			○	
86			○	特殊メイクⅡ	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする。	2後	45	2		○		○			○	
87			○	アーティストメイクⅠ	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。	2前	45	2		○		○			○	
88			○	アーティストメイクⅡ	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。	2後	45	2		○		○			○	
89			○	フォト&ファッションⅠ	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によっての注意点等を理解し、実践力を身につける 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める。	2前	15	1	○			○			○	
90			○	フォト&ファッションⅡ	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によっての注意点等を理解し、実践力を身につける 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める。	2後	15	1	○			○			○	
91		○		サロンワークⅠ－D	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。	2前	60	2			○	○			○	○
92		○		サロンワークⅡ－D	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。	2後	60	2			○	○			○	○
93			○	エステティックカウンセリングⅡ	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準と技術力確認試験合格基準を目指す。	2通	30	2	○			○			○	
94			○	エステティックカウンセリングⅢ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、適格に状態を見極め、お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身に付ける。	2通	30	2	○			○			○	
95			○	サロントリートメントⅠ	選択科目の知識、技術を学ぶ ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソテラピー・ストーンセラピー	2前	45	2		○		○			○	

	（衛生専門課程　トータルビューティー科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
96			○	サロントリートメントⅡ	選択科目の知識、技術を学ぶ ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソテラピー・ストーンセラピー	2後	45	2		○		○			○	
97			○	エステティック総論Ⅰ-A	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学・運動学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。	2前期	60	4	○			○			○	
98			○	エステティック総論Ⅱ-A	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学・運動学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。	2後	60	4	○			○			○	
99			○	フェイシャルマニュピレーションⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2前	45	2		○		○			○	
100			○	フェイシャルマニュピレーションⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2後	45	2		○		○			○	
101			○	フェイシャルスキンケアⅠ	応用トリートメント。（資格試験対応） ベージックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2前	45	2		○		○			○	
102			○	フェイシャルスキンケアⅡ	CIDESCOインターナショナル合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準を目指す。	2後	60	2		○		○			○	
103			○	ボディベーシックⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める	2前	45	2		○		○			○	
104			○	ボディベーシックⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める	2前	45	2		○		○			○	
105			○	ボディテクニカルⅠ	応用トリートメント。（資格試験対応）	2前	45	2		○		○			○	
106			○	ボディテクニカルⅡ	応用トリートメント。（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2後	60	2		○		○			○	
107			○	プロボディⅡ	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー	2前	60	2		○		○			○	
108			○	プロボディⅢ	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー	2後	60	2		○		○			○	
109			○	プロフェイシャルⅡ-B	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー	2前	90	4		○		○			○	

	（衛生専門課程　トータルビューティー科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
110			○	プロフェイシャル Ⅲ- B	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー	2後	90	4		○		○			○	
111			○	プロフェイシャル Ⅱ - C	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得をする・コンサルテーション・エステティック機器	2前	60	2		○		○			○	
112			○	プロフェイシャル Ⅲ - C	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得をする ・コンサルテーション・エステティック機器	2後	60	2		○		○			○	
113			○	エステティック総論Ⅰ - B	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ	2前	30	2	○			○			○	
114			○	エステティック総論Ⅱ - B	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ	2後	30	2	○			○			○	
115			○	エステティック総論Ⅰ - C	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ	2前	15	1	○			○			○	
116			○	エステティック総論Ⅱ - C	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ	2後	15	1	○			○			○	
117			○	アロマテラピー総論Ⅰ	エステティック知識総合 ・スキンタッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き ・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール	2前	30	2	○			○			○	
118			○	アロマテラピー総論Ⅱ	アロマテラピー検定対策 アロマテラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用	2後	30	2	○			○			○	
119			○	スパセラピーⅠ	選択科目の技術を学ぶ ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー	2前	60	3		○		○			○	
120			○	スパセラピーⅡ	選択科目の技術を学ぶ ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー	2後	60	3		○		○			○	
121			○	検定対策Ⅱ	JNECネイリスト技能検定2級～1級とJNAジェルネイル技能検定中級～上級の取得を目指し技術強化する。	2前	60	4	○			○		○		
122			○	検定対策Ⅲ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。	2後	60	4	○			○		○		

	（衛生専門課程　トータルビューティー科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
123			○	検定対策＆スカルプチュアⅠ	JNECネイリスト技能検定2～1級取得を目指し技術強化する。	2前	60	4	○			○			○	
124			○	検定対策＆スカルプチュアⅡ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得を目指す。	2後	60	4	○			○			○	
125			○	ジェルネイルⅡ	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる。	2前	60	2		○		○			○	
126			○	ジェルネイルⅢ	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる。	2後	60	2		○		○			○	
127			○	コンテストⅡ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ 維持することを実践できる。	2前	30	1		○		○			○	
128			○	コンテストⅢ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ 維持することを実践できる。	2後	30	1		○		○			○	
129			○	ネイルケアⅡ	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する。	2前	45	2		○		○			○	
130			○	ネイルケアⅢ	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する。	2後	45	2		○		○			○	
131			○	ネイルアートⅡ	ポリッシュアートなどのフラットアートから３Ｄアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する。	2前	45	2		○		○			○	
132			○	ネイルアートⅢ	ポリッシュアートなどのフラットアートから３Ｄアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する。	2後	45	2		○		○			○	
133		○		サロンワークⅠ－J	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。	2前	30	1			○	○			○	○
134		○		サロンワークⅡ－J	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。	2後	30	1			○	○		○		○
135			○	エステティック カウンセリングⅡ－J	②「美」を通して人を魅了することへの表現力を養うために、日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案力と実践力を身につける。	2前	15	1	○			○			○	
136			○	エステティック カウンセリングⅢ－J	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。	2後	15	1	○			○			○	

	（衛生専門課程　トータルビューティー科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
137			○	アロマテラピーⅡ―J	アロマテラピーの基礎知識、精油のプロフィール、トリートメント法、嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学、アロマテラピーに関わる法律問題・資格制度を学ぶ。	2前	15	1	○			○			○	
138			○	アロマテラピーⅢ―J	アロマテラピーの基礎知識、精油のプロフィール、トリートメント法、嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学、アロマテラピーに関わる法律問題・資格制度を学ぶ。	2後	15	1	○			○				
139			○	フェイシャル&ボディⅡ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2前	60	3		○		○			○	
140			○	フェイシャル&ボディⅢ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2後	60	3		○		○			○	
141			○	ネイルケア&ネイルアートⅠ-J	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、ＪＮＥＣ2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する。	2前	45	2		○		○			○	
142			○	ネイルケア&ネイルアートⅡ-J	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、ＪＮＥＣ2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する。	2後	45	2		○		○			○	
143			○	検定対策&ジェルⅠ	JNEC2級・ＪＮＡジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る。	2前	30	2	○			○			○	
144			○	検定対策&ジェルⅡ	JNEC2級・ＪＮＡジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る。	2後	30	2	○			○			○	
145			○	パーソナルヘア&メイクⅡ	１年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2前	30	1		○		○			○	
146			○	パーソナルヘア&メイクⅢ	１年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2後	30	1		○		○			○	
147			○	トータルメイクⅠ	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。	2前	30	1		○		○			○	
148			○	トータルメイクⅡ	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。	2後	30	1		○		○			○	
149			○	ヨガ・ピラティスⅠ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ。理論を学び心身両面から働きかけ自らの美と健康を維持、促進する。	2通	30	1		○		○			○	
150			○	ヨガ・ピラティスⅡ	ヨガ・ピラティスⅠに加えて、ヨガ指導ができるようになる。	2通	30	1		○		○			○	

	（衛生専門課程　トータルビューティー科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
151			○	ダイエット学Ⅰ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る。	2前	30	1		○		○			○	
152			○	ダイエット学Ⅱ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る。	2後	30	1		○		○			○	
153			○	インターンシップⅠ－Ⅰ	現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。	1後	45	1			○		○	○		
154			○	インターンシップⅠ－Ⅱ	現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。	2後	45	1			○		○	○		
155			○	インターンシップⅠ－Ⅲ	現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。	2後	45	1			○		○	○		
合計					155　科目			277　単位(単位時間)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件	本校に修業年限以上在学し所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。	１学年の学期区分	2 期
履修方法	原則として教育課程に定められている順序で履修する。 なお、「サロンワーク」「施設実習」を必履修科目とする。	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。